

## 令和元年度事業報告

少子高齢化の進展、疾病構造の変化、社会構造の複雑化等に対応し、県民一人ひとりが満足できる生涯をおくる上で欠かすことの出来ない健康づくりへの取り組みにおいて、疾病予防や早期発見の役割を担う当会の使命はますます重要なものとなっている。

当会は昭和15年の設立以来、長年培った技術と健診実績を踏まえて、県民の健康増進に一層寄与できるよう、結核（感染症）をはじめとする呼吸器疾患や生活習慣病等の予防の為に健康診断や早期発見の為に普及啓発など、県民一人ひとりが満足できる生涯をおくる上で不可欠な健康づくりへの取り組みにおいて、総合的、計画的に事業を展開した。

健診事業については、県民の健康管理及び健康増進を目指し、結核を中心とする疾病の予防を図るため、感染症法、学校保健安全法、健康増進法、労働安全衛生法及び高齢者の医療の確保に関する法律などに基づき、事業所従業員、地域住民及び児童・生徒等を対象に、定期健康診断の他、生活習慣病予防健診、特定健診などを、検診車による巡回健康診断や診療所所内健康診断として、県内各地に所在する市町、事業所及び学校他を対象に総合的に実施した。

普及啓発事業については、県内行政機関、静岡県結核予防婦人会等との連携のもとに、結核予防週間及び複十字シール運動等の啓発キャンペーン事業を展開するほか、広報誌「結核しずおか」作成や、結核予防に関する各種機関誌、ポスター、パンフレット等の関係機関への配布並びに出版物の頒布及びパネルの貸出し、各種講演会、研修会等の開催企画などを通して、結核予防思想の普及啓発に努めた。

これらの業務運営・執行に当たり、令和元年度における重点方針を定め取り組んだ。

1. 健診サービスの質の向上を図るために、受診し易い環境の設定、健診業務の精度管理の向上のための取組みや、個人情報の保護対策等、情報セキュリティと受診者のプライバシー保護の徹底。
2. 職員の能力を最大限に発揮することを目指した、時代に即した人材確保と人材育成。
3. 顧客サービスの向上として、一般的な健康診断にがん検診などのオプション検査の同時受診を実施。
4. 管理職による経営管理会議や課長会議を開催し、健診事業の課題や経営課題等を定期的に精査し、課題の解決策や効率的な事業推進方策などに取り組むことによる、経営基盤の強化。

## I 健康診断事業の実施

結核を中心とする呼吸器疾患及び生活習慣病予防のための健康診断事業として、県内各地を胸部検診車・胃部検診車・乳がん検診車・子宮頸がん検診車で巡回し、県民の健康を維持する活動を行った。

区分を住民検診、学校検診、事業所検診、施設・接触者検診に分類し健康診断事業に取り組んだ。

### 1 住民検診

住民検診は、感染症法・健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律や、「がん検診推進事業」「がん検診受診勧奨事業」により実施される検診を1人でも多くの方に受診していただくため、受診しやすい環境を作るとともに、市町の担当者や静岡県結核予防婦人会の協力を得て受診勧奨を行い早期発見に努めた。

区 分		令和元年度実績 (人)	平成30年度実績 (人)	対前年比 (%)
住民検診	胸部検診	70,182	71,852	97.7
	肺がん喀痰細胞診検査	1,956	1,980	98.8
	胃がん検診	3,658	3,869	94.5
	乳がん検診	5,583	5,633	99.1
	子宮頸がん検診	2,786	2,703	103.1
	大腸がん検診	5,583	5,963	93.6
	骨粗しょう症検診	608	732	83.1
計		90,356	92,732	97.4

### 2 学校検診

学校検診は、学校保健安全法により実施される検診で、県内の公・私立高等学校・特別支援学校・大学・専門学校・小・中学校の検診を行った。

区 分		令和元年度実績 (人)	平成30年度実績 (人)	対前年比 (%)
学校検診	胸部検診	46,246	47,213	98.0
計		46,246	47,213	98.0

### 3 事業所検診

事業所検診は、労働安全衛生法により実施される健診で、県内の事業所の定期健康診断・特殊健診を行った。さらに、健康保険法により実施される生活習慣病予防健診や、高齢者の医療の確保に関する法律により実施される特定健診も行った。また、がん検診（肺がん・胃がん・乳がん・子宮頸がん・大腸がん・前立腺がん）も同時受診を実施し、早期発見に努めた。

区 分		令和元年度実績 (人)	平成 30 年度実績 (人)	対前年比 (%)
事業所検診	胸部検診	32,998	33,867	97.4
	胃がん検診	4,996	5,928	84.3
	乳がん検診	1,340	1,485	90.2
	子宮頸がん検診	223	203	109.9
	総合健診	23,486	23,540	99.8
	(内ストレスチェック)	2,511	2,467	101.8
計		63,043	65,023	97.0

※胸部検診・胃がん検診・乳がん検診の人数は総合健診からの再掲を含んでいます。

### 4 施設・接触者検診

施設検診は、リフト付き胸部検診車やポータブル撮影機器を使用し、感染症法により施設の入所者（利用者）を対象に実施される検診と、労働安全衛生法により従業員を対象に実施される健診を行った。

接触者検診は、感染症法により実施される検診で、県・政令市と協力して行った。

区 分		令和元年度実績 (人)	平成 30 年度実績 (人)	対前年比 (%)
施設検診	胸部検診	2,980	2,805	106.2
	総合健診	942	924	101.9
接触者検診	胸部検診	232	176	131.8
計		4,154	3,905	106.4

<b>合 計 (1+2+3+4)</b>	<b>203,799</b>	<b>208,873</b>	<b>97.6</b>
----------------------	----------------	----------------	-------------

### 5 各検診結果の集計及び統計処理

独自のシステムの運用により、各検診結果の集計及び統計処理を行い、業務の効率化や精度管理に努めた。

## II 普及啓発事業

### 1 結核予防週間

(1) 期 間 令和元年9月24日(火)～30日(月)

(2) 啓発内容

① 結核予防キャンペーンの実施

ア 開催日 令和元年9月28日(土)

イ 場 所 アピタ静岡店

ウ 実施内容

静岡市、静岡県結核予防婦人会及び静岡県と協力して、結核予防啓発リーフレット・啓発資料を配布するなど結核予防を呼び掛けた。

② ポスターの配布及び掲示による広報

ア 結核予防等の正しい知識と対策が広く県民に浸透するよう、ポスターの掲示・資料の配布を県・市町に依頼した。

イ バスや電車内でのポスター掲示により結核予防を呼び掛けた。

③ 県内各地での結核予防キャンペーン

静岡県結核予防婦人会各支部の協力を得て、県内各地に出向いて結核予防のパンフレット、ポケットティッシュ等の配布や複十字シール運動街頭キャンペーンを実施するなど、結核予防思想の普及啓発に努めた。

④ 報道機関等を通しての広報

結核予防週間キャンペーン等の実施案内を報道機関へ資料提供した。

### 2 普及啓発資料の作成、配布

(1) 広報誌「結核しずおか」の発行

年2回発行し、県民の健康増進に寄与することを目的に関係機関のご協力をいただき、結核予防を題材にした知識の普及啓発及び当会の検診事業の紹介について掲載した。

県、市町、病院等関係機関、事業所、複十字シール運動協力者等への配布を目的に3,000部を発行した。

(2) 啓発カレンダーの作成、配布

県、市町及び関係機関に配布した。

(3) 結核予防週間ポスター及びパンフレット(公益財団法人結核予防会作成)を県、市町に配布した。

(4) 「複十字」(公益財団法人結核予防会作成)、「健康の輪」(全国結核予防婦人団体連絡協議会作成)の機関紙を県、市町及び関係機関に配布した。

(5) 結核予防・啓発用パネル等の貸出し

県、市町及び医療関係機関等に無償で貸出した。

### 3 県、市町、関係団体が行う健康まつり等への参加

県、市町、関係団体の各種行事に参加し、結核、肺がんに加えて、胃がん、乳がん等のパネル等を展示、啓発資料を配布、検診を実施するなど受診勧奨に努めた。

- (1) 平成31年 4月 9日 (火) 秩父宮記念公園さくらまつり (御殿場市)
- (2) 平成31年 4月 12日 (金) 杏林堂ベビーフェスタ  
ツインメッセ静岡 (静岡市)
- (3) 令和 元年 6月 15日 (土) おやま健康フェスタ (小山町)
- (4) 令和 元年 9月 15日 (日) ゆらら健康まつり (静岡市)
- (5) 令和 元年 9月 21日 (土) 第9回地球といきものたちのまつり 2019  
J R浜松駅北口広場 (浜松市)
- (6) 令和 元年 10月 26日 (土) 伊豆市社会福祉大会 (伊豆市)
- (7) 令和 元年 10月 27日 (日) 熱海市健康まつり (熱海市)
- (8) 令和 元年 11月 3日 (日) 芝川公民館まつり (富士宮市)

### 4 報道機関等への情報提供

結核予防関係の主要行事、結核予防関係資料等ニュース素材を報道機関に提供、広報活動の充実に努めた。

### 5 ホームページでの情報公開

公正で開かれた活動の推進及び結核を中心とする疾病の予防思想を普及するため、活動状況、運営内容、財務資料等を積極的に公開した。

### 6 講演会の開催

令和2年3月25日(水)、県、市町の行政担当者や保健師等が健康増進の正しい知識を県民に広めることを目的に、公益財団法人結核予防会、結核研究所から講師に招き、講演を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に延期とした。

### 7 表彰

県内各地域の結核予防事業の一層の推進を目的に、結核予防功労者(個人)及び結核予防対策推進優良市町(団体)の表彰のため、県内各保健所長からの推薦を受け、結核予防表彰規程に従い、選考委員による公正な選考により、受賞者を決定した。表彰は令和2年度中に行う予定である。

#### (1) 結核予防事業功労者(個人)

杉山 達郎 様 (静岡県東部保健所 推薦)

#### (2) 結核予防対策推進優良市町(団体)

該当なし

### 8 複十字シール運動

結核予防思想の普及啓発活動、発展途上国への結核対策支援等の財源を得るために、公益財団法人結核予防会が主催する複十字シールを媒体とした全国一斉の募金活動に協力した。静岡県、市町、静岡県結核予防婦人会と連携し、マスメディア等の媒体を通して結核予防思想の普及啓発に努めた。当会は、設立

以来 70 年以上にわたり、県民を対象に募金活動を実施している。

(1) 募金実績額 5,426 千円 (組織募金 4,278 千円 郵送募金 1,148 千円)

(2) 運動期間 令和元年 8 月 1 日から 12 月末日まで

(3) 運動方法

① 組織募金

従来どおり、静岡県結核予防婦人会の各支部に対して、それぞれの実情に即した方法で募金活動を実施した。また、募金活動資金として募金額により定めた額を還元した。

② 郵送募金

郵送により個人、事業所、各種団体、寺院、神社に募金をお願いした。

③ その他

募金箱の年間設置をお願いした。また、秩父宮記念公園において、イベントに合わせて普及啓発活動を行った。

ア 秩父宮記念公園 (御殿場市)

イ 富士山こどもの国 (富士市)

ウ 静岡市ふれあい健康増進館ゆらら (静岡市)

エ 富士山静岡空港 (牧之原市)

オ ラペック静岡 (静岡市)

#### 9 予防資材取扱事業

公益財団法人結核予防会が出版している一般向けのパンフレットや医師、保健師、看護師、行政事務職向けの専門書を販売した。また、職員提案制度の執行により、結核予防週間に合わせて訪問やダイレクトメール、ホームページでの掲載を行い、結核に関する知識の普及啓発により一層努めた。

### III 関係機関との連携

結核予防活動を行っている静岡県結核予防婦人会の次の事業に対し、全面的に協力、支援を行った。

① 静岡県結核予防婦人会総会、会議等

② 静岡県結核予防リーダー研修会

③ 結核予防婦人団体中央講習会

### IV 施設、設備の整備

公益財団法人 JKA が実施する令和元年度補助事業に、胸部レントゲン車 1 台、日本郵便株式会社が実施する年賀寄附金の配分事業にワンボックス車 1 台の補助を受け、整備をした。

## V 諸会議等の開催

### 1 理事会・評議員会

理事会・評議員会は、事業計画、予算、決算等、定款に基づく事項を審議し、議決又は承認された。

### 2 経営管理会議等

各種事業の推進状況及び経営状態の現状を把握精査し、新規事業の開拓や効率的な事業推進方策を検討し、安定した運営に資するため、当会の課長以上で構成する経営管理会議等を定期的で開催した。

### 3 ブロック会議、連絡会議

- (1) 令和元年度東海北陸ブロック会議(福井県で開催)へ出席
- (2) 令和元年度結核予防会全国支部事務連絡会議(東京都で開催)へ出席

### 4 結核予防全国大会

令和2年3月16日(月)・17日(火)静岡県にて開催予定の第71回結核予防全国大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

### 5 職員の研修

- (1) 公益財団法人結核予防会主催の研修会へ参加
  - ① 公益財団法人結核研究所が行う各種研修及びセミナーへ参加
  - ② 結核予防会事業協議会研修会へ参加
- (2) 学会、各種団体主催の研修会、講習会へ参加
  - ① 学会、各種団体が行う研修会、講習会に積極的に参加し、知識、精度並びに技術の向上等を図った。(胸部画像精度管理研究会、静岡県放射線技師学術大会及び講演会等)
  - ② 業務に必要な資格取得の講習会に参加した。
- (3) 静岡県結核予防婦人会主催の研修会支援  
静岡県結核予防リーダー研修会(静岡県からの委託事業)の後援を行い職員も研修会に参加した。

## VI 公益財団法人としての運営

新制度の下、自己責任運営が求められ、ガバナンス、法令、定款、諸規程の遵守、加えて透明性の高い経営を基本的な心構えとして要請されており、公益財団としての使命を果たし県民から大きな信頼を得る法人の運営に努めた。